

NHK主催セイブザフューチャーに初参加

SOEの「買い物ゲームをしようー食べものとフードマイレージ・地球環境を考える」へ、暑い日差しと大雨の中でも、たくさんの親子連れ、若者たちが立ち寄りました。



6月20日と21日、渋谷のNHKホールにてNHK主催のイベント、Save The Futureが開催されました。センスオブアースは、今回のイベントで環境問題と食べ物との繋がりを多くの人に知ってもらうべく、ブース出展とワークショップを行ってきました。

SOEがワークショップとして用意したのは買い物ゲームです。買い物ゲームでは、普段の買い物が環境に与える影響を考えていきます。手巻き寿司を作ろうと題したSOEのブースで、イベントに参加した人たちは魚介類を中心とした食材を選びます。手巻き寿司の買い物以外にも、夕飯の献立を考えるお母さんに、好きな果物を揃える子どもまで。それぞれが食材をかごに集めていきます。それら選ばれた食材は会計へ運ばれ、その場で精算されていきます。

宮城県産カツオは5.12ポイント。カナダ産エビは29.64ポイント。チリ産サーモンは58.22ポイント。レシートには合計金額でなく、これらの数字の合計が打ち出されます。

合計ポイントを見た多くの人の反応は、「このポイントは何なのか」「このポイントが高いとどうなるのか」といったものでした。中にはこのポイントの意味に気づき、「これって低い方が良いんだよね」という反応も。値段とは異なるこの数字に、参加者の多くは興味を示しました。

このポイントの正体はフードマイレージです。食べ物の量(t)と産地～東京の距離(km)、そしてCO₂の量を出すための係数とを掛け合わせることで算出される数値です。輸送にかかるエネルギー消費を考え、東京から近い距離の産地の食材を選ぶことで合計ポイントーCO₂の排出量ーを抑えることが出来るのです。

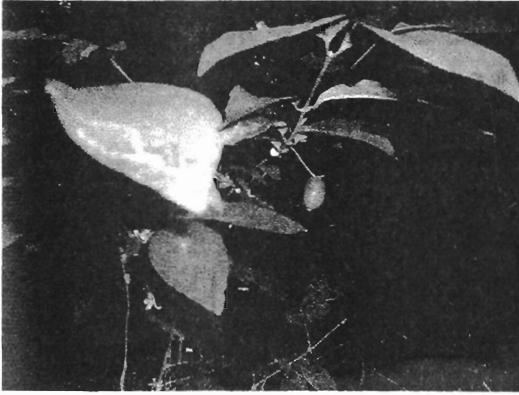
食材を買うときに目が行きやすいのは、何を置いても値段です。最近では安全性の観点などから産地への関心も高まりつつありますが、そこに環境からの視点は入ってきていないように思われます。今回のワークショップは、食材の産地が環境問題とも繋がっていることを考えるきっかけにしてみよう、用意を進めていました。

21日はあいにくの雨で出展を見合わせる事になりましたが、初日の20日は天気にも恵まれ、SOEのブースには100組近くの“お客さん”がやってきました。1組1組と向き合い、食べ物と環境の繋がりについて話をする。小学校での環境教育とは異なる関わりの中で、地球の未来を守る第一歩となれる機会となりました。

(記：SOE 北野翔平)



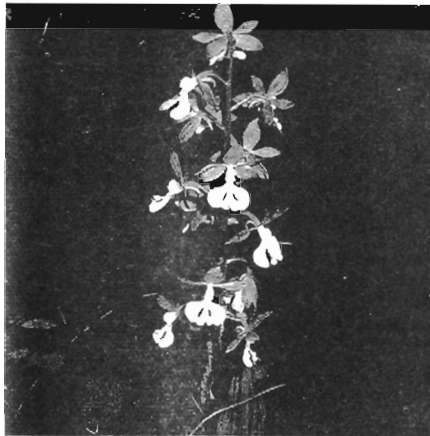
日本女子大学自然探偵団 春の自然観察会



「アオキは、シーボルトが雌の木だけ持って行ったので、実がなかった。あとで雄の木を取りに来た。赤い実が珍しかったですよ。」「アラカシ・シラカシはブナの仲間。ドングリになる。スダジイのドングリは炒って食べられる。」「たくさんの幹が株立ちしているのは、萌芽更新させた木ね」

一川崎市の植物インタプリター、高橋英さん・生田緑地保全会の山田輝子さん・中島道夫さん・多摩川エコミュージアムの木村さん・日本女子大学田中雅文先生・日本女子大学付属高校生物科青木先生 同付属中学校 中村先生・大城先生の特別参加を得て、学生たちと盛大に行われました。本当に豊かな自然が残る貴重な地域で、一步森に入ると、まるで、山の奥に来たようでした。---

日本女子大学3年 自然探偵団 矢吹



4月30日、キャンパス内にある水田記念公園で、自然観察会を行いました。

この公園は多摩丘陵に含まれ、昔は里山として人々に親しまれていたようです。

公園の入り口付近には、キイチゴとツボスミレが小さな花を咲かせていました。午後の暖かな日射しが木々の葉を通して、森の中に淡いかげりを落としていました。

公園内の地面は、踏みしめる度に、やわらかく沈み込みます。踏み出した一步。その足元には十億もの生命があるそうです。(微生物) この小さな足下の生きものたちが見上げるほど高く伸びた木々を支えていると思うと、ただただ驚くことしかできませんでした。

また、里山としての機能が、化石燃料を多用している現代的な生活の中では活用しきれず、里山の手入れをする人々も減り、その結果、鬱蒼とした暗い森になってしまいます。

だからこそ、土の中で眠る種が芽を出せるように下草を刈る作業「下草刈り」の重要性や老木を切り、そこから新しく芽が出て、生長していくという「萌芽更新」をさせるメリットなどを教えていただきました。今回の観察会を通して、里山の循環を知り、ほったらかしのままが、「自然」なのではなく、人間が過度に手を加え、育てていくのも「自然」なのだ、改めて学びました。

観察できた植物群—オニタビラコ・カタバミ・ブタナ ハルジオン・シロツメグサ・ヒメヤエノグラ・ウジロチチコグサ・クローバー・チチコグサ・ハハコグサ・ホタルブクロ・ツメクサ・イヌシデ・ウ

ラジロガシ・サカキ・ミツバ・ヘビイチゴ・ツボスミレ・ヤマユリ・ヤマアジサイ・タマアジサイ・コアジサイ・コブシ・ケヤキ・ヒノキ（木の上に生長点があるので、それがやられると伸びなくなる）・エビネ・アラカシ・シラカシ・スダジイ・ハンショウズル・フタリスズカ・ハナイカダ（葉の真ん中に花をつける珍しい花）ホウチャクソウ（チゴユリに似た毒草）ミヤマナルコユリ（花が下を向いて咲く）アオキ・ウグイスカズラ（スズメグミともいう。鶯を狩る場所に生えている）ヤマホトトギス・アズマネザサ・シロダモ・シュロ・サワフタギ・イヌシデ・ウワミズザクラ・アワブキ（燃やした時泡を吹く）ヤブムラサキ・ムラサキシキブ・タカオカエデ（人が交配してきた）・サイハイラン（採配するものに似ているため）クヌギ（よい炭になる）コナラ（切って萌芽更新させて株立ちする。元気な良い芽を残し後は切る）ヤマコウバシ（山香ばし）フユツタ（冬に緑）コブシ・ツリバナ・ヒサカキ（極相林、常緑樹の暗い森になる。落葉樹の方が水もきれいになる。将軍吉宗のころから手を入れて里山にして食料も取れるようにしてきた）ネジキ（樹皮がねじれている）豊かな自然のため、書ききれず、記録から落ちたものもあります。（寺田）

日本女子大学×センスオブアース共催 ネイチャーゲーム講習会開催

7月29～31に日本女子大学とSOEの共催で、ネイチャーゲームの講習会を行います。都心でも、楽しめるユニークなゲームの数々は、SOEの環境教育プログラムにも取り入れています。今回は、日本女子大学の学生の皆さんと、センスオブアース会員限定企画です。

第6回NPO法人センスオブアース・ 市民による自然共生パンゲア総会—記念講演 —わたしと地球がつながる食農共(とも)育—

NPO法人コミュニティスクール・まちデザイン 理事長 近藤恵津子さん

—「食べることは個人的な行為ですが、地球環境につながっている問題であることを知ること。生産者のことを考える消費者に」—



6月14日（日）午後2時15分よりエコボリスセンターにて、講演名と同名の本を出した近藤恵津子さんに、お話を伺いました。SOEは以前から、近藤さんの本を読み、大いに参考にしてきていたのです。お忙しい中を実際にお話が伺えるとは、大変ラッキーなことでした。

近藤さんは、さわやかな話し方で、ご自分たちが取り組まれている食育の授業について話されました。「学校で授業をする前に、準備に時間をかけ、保護者に参加を募っていただき、事前に学習会を行います。そのあと、授業のスタッフとして、学年の各学級に同時に入ってもらって、食べ物がどこから来ているか世界の食料はどうなっているのか、世界人口の3分の2は、貧しく食べ物がじゅうぶんでない、10億人近くは1日1ドル以下で暮らしていることなど話します。保護者や地域の方、いろいろ

ろ方を巻き込んで取り組んでいます。高校では、20時間を当ててもらいそのうちの5日間10時間の授業を受け持たせてもらった学校があります。授業の中で、生徒たちに自分が改善するとしたら、何をどうするか考えてもらい提案する授業を行いました。ある生徒は日本の農業の再提案を出しました。しっかり考える子どもに変わっていくのがわかります。

プログラムの例—1日目 「どこから来るの？私たちの食べ物」

2日目 「地球にやさしい食とは&鶏肉の価格」ヒナの輸入
密飼い

3日目 「世界の穀物事情&とうふの価格」

バイオエタノール政策・自給率・遺伝子組み換え

4日目 「ものづくり体験～おとうふ屋さんと一緒にとうふづくり」

5日目 「自給率アップ大作戦」就業人口推移・農地面積推移・食べ物構成比変化・
食糧廃棄量・ハンガーマップ（世界の食糧飢餓分布図）

近藤さんは、「子どもたちや生徒に楽しく学んでほしいので、クイズなどを使っています。また、どんな飲み物が好きかを聞きながら、知らないうちに外国産の食糧を食べていること、特にトウモロコシはアメリカから大量に輸入しているが、いろいろなお菓子や飲み物の材料に使われているそうで気付きにくいそうです。白飴などと書いてあったら、それはトウモロコシが原料だそうです。」

参加者一同、外国産を食べていた。フードマイレージについても、

「CO₂の正確な量を出すのは大変です。大事なことは、食べ物についての考え方です。生産者のことを考えた消費者になることです。食べることは、個人的な行為ですが、それが社会の食糧・環境問題につながっていることに気付くことが大事です。」とまとめられました。SOEのベテランスタッフは、「これから、フードマイレージについてもっと、勉強していかないと」と大いに刺激を受けていました。食糧問題はまさに環境問題でもあります。エコフードデイを取り組んでいきましょう。（記：SOE 寺田茂）

● S.O.E. 活動報告（2009年5月）

日	曜	内 容
2	土	SOE現役若手教員と交流
10	日	SOEワークショップ—セイブザフューチャー—出店準備 SOE5月号ニュース発行作業
16	土	板橋区エコポリスセンター主催「ヤゴ救出作戦事前学習会」SOEメンバー参加 その後ワークショップを行う
17	日	「ピオトプよりの使者」公演会
18	月	NPO法人エコシテイ志木天木様 埼玉協会自然生態系山崎様取材
24	日	SOEワークショップ 日本女子大学人間社会学部 田中雅文先生講演「プログラム作りを通じた学生と社会人の学び合い」 セイブザフューチャーの出店準備

● S.O.E. 活動報告（2009年6月）

7	日	志村第2小 ヤゴ救出大作戦エコポリス事業にSOE学生が参加
11	木	かながわ環境教育研究会 理事長渡辺敦様取材
18	木	板橋区立板橋第7小1年2組田中学級 日本女子大学生が授業参観
19	金	セイブザフューチャー前日準備作業
20	土	セイブザフューチャー1日目 7時半出発 1日晴天
21	日	セイブザフューチャー2日目 1日雨の中、出展

Save the future（セイブザフューチャー）とは…「NHK地球エコ」キャンペーンの一環として、NHK総合テレビ（NHKワールド・プレミアムは一部時間帯のみ）が放送する、環境問題に関する特別番組です。番組 URL：<http://www.nhk.or.jp/savethefuture/>

発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6053
e-mail: info@npo-soe.jp url: www.npo-soe.jp